



しょうれん 力障連「わ」会 報

http://challenged-catholic.net/ No.82 2017.12.5 発行

目次

かんとうげん 巻頭言に代えて	
こもんしきょう 顧問司教	まえだ まんよう 前田 万葉
だいしきょう 大司教	…………… 1
ユスト高山右近列福式についての要望書	
かいちょう 会長	えど とおる 江戸 徹
……………	2

しょうれん 力障連	かいしゅうけつ かほうこく 回収結果報告	だい かいほうこく 第2回報告	
かいちょう 会長	えど とおる 江戸 徹	……………	3
しょうれんかつどう 力障連活動	これから何を大切にしたいかの話		
しあい し合い	うんえいいん たなか 運営委員 田中 実	……………	10
だい きだい 第12期第6回	かいやくいんかいほうこく 役員会報告	じむきょく 事務局	…………… 11

かんとうげん 巻頭言に代えて

しょうきょうく しゅうどうかい がっこう かくしゅだんたい かくい
小教区・修道会・学校・各種団体 各位

にほん しょうがいしゃれんらくきょう
日本カトリック障害者連絡協
ぎ かい ささ かいにゆうかい ねが
議会を支える会入会のお願い

にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎかい
日本カトリック障害者連絡協議会

こもんしきょう まえだ まんよう だいしきょう
顧問司教 前田 万葉 大司教

+ 主の平安

きつつかお きせつ みな ひ
菊花薫る季節となりました。皆さまには日
ごろよりご聖務にご尽力をいただいていること
に心より感謝とお礼申し上げます。また日本
カトリック障害者連絡協議会（以下力障連と
称す）には温かいご理解とご支援を心よりお
礼申し上げます。

しょうれん かげさま けっせいらいらい ねん むか
力障連もお陰様で結成以来 35 年を迎えま
した。この間様々な障害者問題に真剣に取り
組み、特に障害種別を超えあらゆる障害問題
に取り組む姿勢は、全国的にも草分け的な
存在としてあり、今では全国の様々な障害者
団体が当たり前前に活動しているだけに、力障
連の活動の正しい方向性は、キリストの言う
「人はみな兄弟」との実践を世間に示してき

たといえます。「障害者も宣教者である」が
モットーです。

その間力障連が順風満帆に活動できたかと
言えば、必ずそうでもなく 35 年の歴史の中
で正しい活動を如何に繋ぐかという課題に
は、苦闘してきたと伺っております。その
意味で 2 年前、札幌大会で 4 代目代表として
江戸徹さんが就任して以来、全国のカトリッ
ク信徒の実情調査を行うなど一部カリタス・
ジャパンの支援を得ながらですが、着実な
活動を展開しております。

しかし、全国の役員が会議をするにも多く
の経費を要し、運営にも苦闘しております。ま
た、3 年に 1 度の全国大会を企画し、全国の
障害を持つ仲間たちが、平等に参加できるた
め遠隔地からの参加者には、参加費補助をし
てきたという歴史もあり、まさにキリストの
隣人愛に基づく活動は、高く評価されています。

反面、その運営には全国の皆様の善意の
寄付で賄ってきましたが、善意の寄付は大き
な波がありとても不安定です。力障連が安定
した活動をしていくために、全国の小教区・
修道院・学校・各種団体が年会費一口 5000
円を担っていただければ、力障連の活動も一

二〇一七年十二月五日発行（毎週火曜日）AJU増刊二二八五五号 一九七九年八月一日 低料第三種郵便物認可 定価一〇〇円

段と充実した活動になります。

つきましては、心苦しいのですが、全国の皆さまのご支援をいただき、より重い障害者も「人はみな兄弟」の精神のもとで、皆さまと対等な充実した信仰生活を送れる礎を築いていただきたいと、心より願うものです。

振込用紙(00830-6-45785 カ障連を支える会)を同封させていただきますので、バザー収益、クリスマス献金などより是非ともカ障連にご支援賜りますようお願いいたします。

※下記要望書は今年2月に行われた「ユスト高山右近列福式」に参加した障害者、特に聴覚障害者から不自由を感じたという声を受けカ障連として下記の通り要望書を司教協議会に要望したものを掲載しました。

司教協議会

会長 高見三明大司教 様

2017年9月26日

日本カトリック障害者連絡協議会
会長 江戸 徹

要望書

主の平和

いつも私たち障害者へのご理解ご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

日本カトリック障害者連絡協議会(以下・カ障連)は1981年、国際障害者年の年にヨハネ・パウロⅡ世が来日され、これをきっかけにカトリック障害者団体及び有志が集まり1982年7月に発足。カ障連会報発行にあたっては、ヨハネ・パウロⅡ世よりカ障連へ「わ」という文字が贈られました。どんな重い障害があっても、この世の中に生まれてきて良かったと思える社会を目指し、それをイエス様を通じて学び、ミサへの完全参加と

平等を目指して活動しております。

さて、今年2月に行われました「ユスト高山右近列福式」につきまして、参加した障害者、特に聴覚障害者より不自由を感じたという声が寄せられました。つきましては下記のとおり障害者の声をお届けし、今後カトリック教会における大きな行事を開催される時にはご配慮いただきたく、要望書を提出させていただきます。

記

1. 参加者の感想

聴覚障害関係(2階席)

- 大きなモニターが3つあって式の進行を拡大して映し出していた。しかし幕(要約)がついてなかったので、手話通訳だけではうまく読み取れなかった。
- 手話通訳者の位置は(2階)1列目の椅子の席の前に立つことになっていたが、後ろに傾いて落ちるような危険を感じ、結果通路の角に立って行われた。手話はよく見えたが、不安定な位置であった。通常事前にかいよう かくにん おこな こんかい 会場の確認を行うが、今回はなかった。
- 大阪地区特有の手話表現(各地区によって表現が異なる)もあり、全国から参加した聴覚障害者にとっては分かりにくい部分もあった。要約筆記と併用していただければ良かった。

また、日本語だけではなかったので、言葉が画面で確認できず、通訳者も当事者も理解できずに終わった部分もあり、要約筆記が強く望まれた。

視覚障害(全盲)

- 点字のミサ資料は事前に欲しかった。事前に「問い合わせ窓口」へ電話で依頼するも断られました。点字のページと一般のミサのページが違うこともあり、点字の場合は、

事前に内容の確認がしたい。

身体障害（車いす使用）

- 正面に向かい左側前方だったが、大きなスクリンが前面にあり、車いすに座った状態では前が見えなかった。縁でも良いので正面が見える席が欲しかった。事前に車いす当事者が参加しての場所の確認が必要と思われる。
- 車いすトイレがわかりづらかった。もう少しわかり易いトイレの場内案内が欲しかった。全体として2007. 9. 29に行われた「ペト口岐部と187殉教者の列福式」の時は、障害者への配慮が感じられましたが、今回は障害者の声が反映されず残念に感じています。

2. 力障連としての要望

- 全国レベルの行事に対しては、障害当事者を実行委員として参加をさせていただき、意見をとり入れるシステムを願います。
- 情報保障では、現在は公の行事は実施されているように、聴覚障害者のためには手話通訳と要約筆記のセットで行われるようお願い致します。また視覚障害者のためには事前に点字または音訳の配慮を願います。機材等手持ちの物で障害者団体も協力ができる体制はあります。
- 今回は地元の手話通訳者に通訳を依頼されましたが、当日体調不良で交替ということもあり、手話が伝わりにくい状況となりました。力障連の加盟団体に、日本カトリック聴覚障害者の会があり、手話通訳士の資格を持った通訳者も共に活動しておりますので、協力ができる体制はあります。
- 事前に、主催側として会場の下見、確認を行って欲しい。障害当事者が現場に立ち会っていれば、状況を変えることができた

と思われる。

- 情報交換をし、お互いが理解協力しあい、すべての人に開かれた教会であることを期待します。

連絡先住所

〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

力障連アンケート回収結果報告 第2回報告

会長 江戸 徹

前回はアンケートの報告件数を中心に報告させていただき、ご回答いただいた教会名を列記させていただき、感謝とお礼を述べさせていただきます。今回はアンケートの分析と要望がありました事柄を中心に報告させていただきます。

全国の教会953カ所にアンケートを3月末に発送し、5/26の締め切りを延長し、6/18までに延長した結果、321カ所（1件所属無記名）からアンケートを頂くことができました。回収率は33.68%でした。

問2 アンケートの記入者はどなたですか。

- 司祭 61件(14%)、
- 事務職 52件(11%)、
- 信徒代表 154件 (34%)、
- その他関係団体 184件 (41%)、計 451件 (100%)。

なお報告箇所の321件と合わないのは、複数で書いていただいたところもあるためです。一番多かったのはその他関係団体が多く書かれたということは、かなりの教会で活動している団体があるということで嬉しく思います。

問3 信徒在籍数

回答いただいた小教区の信徒数の総計は183,311名、現日本全体のカトリック信者は約44万人と言われておりますので約41.6%です。

問4 障害のある信徒はいらっしゃいますか。

①いる：252件（78%）、②いない：61件（19%）、③分からない：9件（3%）

問5 障害別人数

①視覚：153名（7.7%）、②聴覚：250名（12.6%）、③言語：34名（1.7%）、④盲ろう：26名（1.3%）、⑤肢体不自由：312名（15.8%）、⑥車いす利用：336名（17%）、⑦知的：183名（9.2%）、⑧発達：167名（8.4%）、⑨精神：316名（16%）、⑩内部疾患：75名（3.8%）、⑪難病：93名（4.7%）、⑫上記以外：36名（1.2%）、合計1,981名。

問5のアンケート結果を頂き、まず私たちが障害者の定義をお示ししていなかったことで、それぞれ戸惑われたと気が付きました。大変ご迷惑をお掛けしてすみませんでした。

障害者の定義を①手帳を持っている方、②手帳を持っていなくても障害のある方、③高齢化に伴い色々な障害をお持ちになった方などくべつ等区別してアンケートをお出しすれば、より正確な障害者の数値を把握することができたと反省しております。また肢体不自由の方より車いすの方の人数が多かったのも、私たちの設問が分かりにくかったのではないかと感じました。

回答いただいた総信徒数が183,311名に対して、障害者数が1,981名ですので、1.1%となります。世界の障害者率は10%と高く、これは社会モデル（日々の生活で支障をきた

している人が対象者）に対して日本は医療モデルは（法律で認定された人のみが対象者）なので低く5.6%となっています。更に今回のアンケートから教会が把握されている率は1.1%と更に低い事が分かりました。今後も障害者の方々がより教会に参加できるように、当会としても活動をしていく必要があるのではないかと感じました。

また1教会ごとに障害者が何人おられるか分析してみました。

①障害者0名：70カ所（21.7%）、②1～5名：153カ所（47.7%）、③6～20名：81カ所（25.1%）、④21～50名：15カ所（4.6%）、⑤51～100名：2カ所（0.6%）、⑥101～172名1カ所（0.3%）。

1教会が一番多い率としては1～5名おられる教会が多かったですが、1教会で一番おられたのは172名おられる教会がありました。その小教区は、信徒数も多い中で、どのようにして障害者を把握されているのかを参考に伺いました。回答は、神父様が日頃から教会に来ている人たちとコミュニケーションを交わっていて、一定の割合で障害を持っておられる方がいるので算出して報告致しましたと教えていただきました。日頃からの信徒のコミュニケーションを大きな教会でもとられていることに嬉しさを感じました。

問6 障害者への配慮項目

①送迎体制 できている：71カ所、できていない：204カ所。

送迎体制をやっているところは、ボランティアグループ等の活動団体ができているか、家族などが送迎をしているとアンケートを見て感じました。逆にできない理由は送迎者自身の高齢化で人を乗せること

への不安と、もし事故が発生したときの責任問題への不安があるのだと思います。しかし多くの障害者は車などで送迎してもらえないと教会に来てミサにも参加できないし、他の活動も参加できないので、今後も良い送迎対策ができるようお考えいただければありがたいです。力障連としても検討していきたいと考えております。

②身障者トイレ ある：241カ所、ない：74カ所。

思った以上に身障者トイレの普及がされていて良かったと思います。今後も教会の改築などの時に検討していただければありがたいです。作っておけば障害者だけでなく高齢の人のためにも助かります。

③車いす用スロープ ある：229カ所、ない：81カ所。

多く作られていることに感謝です。

④車いす用スロープ板 ある：116カ所、ない：173カ所。

スロープができない所にはスロープ板を作っていただくと便利です。

⑤階段などに手すり ある：226カ所、ない：71カ所。

手すりは高齢者にとっても助かります。

⑥エレベーター ある：60カ所、ない：243カ所。

エレベーターは高額ですが、それでも60カ所もあることに感謝です。またエレベーターの設置は平屋の建物には不要ですので、今回無しと回答いただいた中には、平屋の小教区もかなりあったのではないかと感じます。設問をまず平屋か2階以上かを付け加えておく必要があったと思います。

⑦車いすの常備 ある：176カ所、ない：138カ所。

多くのところで車いすを常備されていることに感謝です。

⑧聖書と典礼の点字版 ある：37カ所、ない：271カ所。

健常者の方には墨字版が配布されていると思いますが、視覚障害者も同じように「聖書と典礼」を読むために点字版を事前に自宅に郵送してもらえるシステムがあります。ロゴス点字図書館に各小教区から注文していただければ事前に配布してもらえます。そしてミサの時に視覚障害者も朗読をすることもできると思います。点字で朗読していただくこと感動します。

⑨お知らせの点字版 ある：9カ所、ない：298カ所。

多くの教会は健常者のためには一般の印刷物（墨字版）が配布されますが視覚障害者の方は読めません。ぜひ点訳か音訳は当事者に希望を聞いて作成体制を作り、配布していただきたいと思います。

教会に視覚障害者が来ないので町の団体に所属して活動している点訳者がおられるのではないのでしょうか。そのような方をぜひ探してみてください。もし点訳できる人が近く教会にもおられましたら教室を開いて指導していただけるように体制を作っていただければ幸いです。

⑩典礼・機関誌等の音訳 ある：12カ所、ない291カ所。

同じように点訳か音訳かを当事者から希望を聞いて作成、配布できる体制を作っていただければ幸いです。

⑪聖歌集の点訳版・音訳 ある：16カ所、ない291カ所。

カトリック聖歌集の点字版は「光明

社) 典礼聖歌集は「あかし書房」と「中央出版社」が制作販売しています。相談してみてください。

⑫手話通訳者 いる：70カ所、いない241カ所。

手話通訳が教会の中でできる人がひそかにおられるのではないのでしょうか。教会に聴覚障害者が来られないので町の中で手話活動されておられる方がいるかどうか探して通訳いただければと思います。

⑬要約筆記者 いる：20カ所、いない287カ所。

点訳及び手話通訳者と同じようにできる方を探して教室をつくり指導をいただければ幸いです。この要約筆記(パソコン通訳)は高齢化を迎えている教会にとって、より必要性が高まると思います。

⑭声かけ対応 している：242カ所、していない：65カ所。

多くの箇所で温かく声かけ対応してくださっていることに感謝いたします。声を掛けていただいただけで大きな喜びを感じている方が多いと思います。その中で障害者だけでなく、初めて教会に来られた方や、寂しうにしておられる方にもぜひ積極的に声を掛けていただくことが教会の活性化になっていくと思います。

⑮その他の項で頂いた主なコメント

- 平屋でバリアフリーになっている。
- 聖堂が2階でエレベーターがないので車椅子用階段昇降機で対応している教会や、ミサの映像を1階のテレビで放映し、ご聖体は1階まで届けているところもある。
- 車いすの方には最前列にポジションを決めていたり、司祭が身体の不自由な方のところまでご聖体を持って行っているところも

ある。
案内係などを設けていて困っている方に声を掛けて支援している。

- 教会に来られない方にご聖体を届けたり、プリント物を病院や自宅に届けている。
- 視覚障害者のために点訳・音訳グループがある。新旧の聖書の点訳版を用意しているところも幾つかある。
- 聴覚障害者のために手話ミサ、プロジェクトクターを使用している。
- 高齢者等の難聴者のために磁気ループの設置、ヘッドホン等を備えている。
- ホワイトボードに記入して説明している。
- 聖書勉強会と合わせて悩み相談をしている。
- 教会の近くの障害者の事業所と食事会や物品の販売に協力している。
- 精神障害の方には複数の方で対応している。駅から教会までの送迎体制ができています。
- 障害者であっても高齢者であっても集まりやすい教会にしていきたい。
- 障害を持っている方も聖書朗読とか色々なお手伝いをしてくれる。
主にこのような意見を頂きました。感謝です。

さんこう 参考

視覚障害者用の点訳、音訳製作施設・団体案内

今回のお知らせはミサと定期刊行紙を主体にさせていただきます。その他の一般や新刊図書等については個人で下記の施設・団体に相談してみてください。

1 ログス点字図書館 (点字・音訳図書)

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
日本カトリック会館内

TEL 03-5632-4428 FAX 03-5632-4454

かき ない かいしゃめい すみじばんはっこうしゃめい
下記の () 内の会社名は墨字版発行者名で
す。

- ① 聖書と典礼 (オリエンズ宗教研究所)
- ② カトリック典礼聖歌集 (光明社・中央出版社)
- ③ 典礼聖歌 (あかし書房)
- ④ 毎日のミサ (カトリック中央協議会)
- ⑤ 4 国後ミサ式次第 (オリエンズ宗教研究所)
- ⑥ 日々の祈り (カトリック中央協議会)
- ⑦ 葬儀のしおり (ドン・ボスコ社)

2 みこころの点字会文庫 (点字図書)

〒 665-0003 宝塚市湯本町 4-33 カトリック大阪大司教区信仰教育センター点字部
TEL / FAX 0797-84-6420
一般図書の点訳を行い無料で貸し出しをしています。

3 点訳ネット「レジナ」(点字図書・実費販売)

〒 675-0057 加古川市東神吉町神吉 608-75
TEL & FAX 079-431-8601

- ① 毎日のミサ (カトリック中央協議会)

4 声の奉仕会・マリア文庫 (音訳図書)

〒 852-8114 長崎市橋口町 5-18 かなえビル 1F

TEL 095-847-5134 FAX 095-847-5144

- ① 毎日の黙想 (聖母の騎士社) デイジー版もあり。
- ② 家庭の友 (サンパウロ) デイジー版もあり。
- ③ カトリック生活 (ドン・ボスコ社) デイジー版もあり。
- ④ 聖母の騎士 (聖母の騎士社) デイジー版もあり。
- ⑤ 福音宣教 (オリエンズ宗教研究所) デイジー

版もあり。

⑦ カトリック新聞 (カトリック新聞社)

どうしても健常者を中心に教会内での必要資料が作られ配布されていますが、視覚障害者にとって墨字版は何が書かれているか全く分かりません。そのために墨字版だけでなく点字を読める方には点字版を、点字を読めない方には音声版のテープ (アナログ) またはデイジー (デジタル) が必要なのです。

上記のことが与えられて健常者も障害者もミサに参加できます。

また聴覚障害者には今何を司祭が話しているかは分かりませんので、手話通訳者や要約筆記者で初めて司祭等の話の内容が分かり、ミサに参加することが出来ます。

また知的障害者の方たちは聞こえても話することができない方が多いです。そして長くジーンとしていたことが難しいです。

心の病の人は人々の目線が気になりますので中々教会に来ることはできません。来る時には薬を飲んだりして勇気を振り絞って参加している方が多いので、温かく笑顔で接していただければありがたいです。

これらの方々が教会のミサに参加するためには教会としての合理的配慮が欠かせないのです。障害を持っている人が参加しやすい教会にしていくことは障害者の方々のためだけでなく、誰でもが高齢になれば耳が聞こえづらくなるし目が見えにくくなるし、身体は足腰が立たなくなり、車いすに乗らなければ教会に来られない状態が考えられます。そんな時に障害者が参加しやすい教会になれば、高齢になっても参加できる教会になっていることとなります。ですからぜひ、今からでもまだ障害者への体制ができていない教会はそれぞれ対策を考えていただくことが、全ての人にとって必要なことになるのではな

いでしょうか。以前機関誌「わ」の78号、79号に掲載いたしました「障害者の権利条約」と「障害者差別解消法」を読み直していただければと思います。

また内閣のホームページには障害者差別解消法が分かりやすく書かれていますので参考にしてみてください。

問7 今後の障害のある方への接し方や対応についておきかせください。

意見の多い順に列記します。

- ①障害者の思いを聞いてケースバイケースで対応していく。(56件)
- ②障害者と合わせて高齢者も同じなので一緒に対応していく。(40件)
- ③障害者の立場になって対応していく。(27件)
- ④バリアフリー化に今後努力していきたい。(18件)
- ⑤対応方法について教会委員会等勉強していきたい。(13件)
- ⑥家庭訪問をしていきたい。(12件)
- ⑦今後は積極的に対応していきたい。(11件)
- ⑧設備改善は高齢化と小さな教会なので経済的に厳しい。(7件)
- ⑨自然に対応していく。(6件)
- ⑩団体ではできないので個人的に支援していく。(4件)
- ⑪障害者がいないので特に考えていない。(2件)

その他の意見

- 教会も健常者中心になっている。
- 点訳、音訳、要約筆記等に努力したい。
- 障害者について理解していきたいので各障害についての対応方法を教えて欲しい。
- 力障連の影響は全く地方では見えない。中央だけではなく地方で活動して欲しい。

問8 アンケートに対するご意見等ありましたらご記入ください。

意見の多い順に列記します。

- ①アンケートによって意識が変わった。(19件)
 - ②障害者の人数の把握ができなかった。(18件)
 - ③高齢化の問題が大きい。(12件)
 - ④答えにくかった。(11件)
 - ⑤障害者の定義がされていないので迷った。(10件)
 - ⑥身体障害者は分かるが見えない障害については分からない。(8件)
 - ⑦アンケートの趣旨が不明、今後どう生かすのか知りたい。(5件)
- その他
- 健常者と障害者は共生していくべき。
 - 教会に来ていない人は分からない。

問9 力障連に対するご意見ご要望がありましたら、ご忌憚なく記入をお願いいたします。

意見の多い順に列記します。

- 1) 障害者の対応は難しいので対応方法を機関誌に載せて欲しい。(16件)
- 問6 障害者への配慮項目の項で個々に説明を書かせていただきましたので参照ください。
- 2) 今後も期待している。(9件)
- 3) 力障連を多くの人に知って欲しい。(6件)
- 4) 障害者の思いを聞かせて欲しい。(5件)
- 5) 地方とコンタクトをとって欲しい。(5件)
- 力障連として各教区から障害者活動団体に加盟いただき、連絡網を持ってお互いの情報交換を行っております。参考までに加盟団体を紹介いたします。
- ①日本カトリック聴覚障害者の会
- ②札幌教区カリタス家庭支援センター

③仙台教区病障連合会

④カソック仙台

⑤福島県カトリックグロリア会

⑥群馬カトリック身障者グループ (群力身)

⑦カトリックさいたま教区障がい者連絡協

議会 (共愛会)

⑧東京オリーブの会

※オリーブの会とは心の病の会です。

⑨横浜オリーブの会

⑩ラルシュ・かなの家 (知的障害者)

⑪カトリック名古屋教区障害者連絡会

⑫子羊の会 (京都教区)

⑬カ障連大阪フレンドリー

⑭福岡オリーブの会

⑮一粒の麦の会サクラ (長崎教区)

⑯障がい者自立支援パッションの会 (鹿児島教区)

カ障連としては日本の全教区に加盟団体として参加して欲しいと願っています。

既に団体が結成されていて加盟されていない会やこれから設立しようとしているところがありましたら、ぜひ一報を頂き、カ障連の加盟団体に入っただき、情報の共有化を図り共に活動していきたいと思っておりますので、事務局までご一報ください。

6) 今回のアンケートで改善していかなくてはと感じた。(5件)

7) カ障連を初めて知った。

・初めて知っていただいて嬉しく思います。カ障連は1981年にヨハネ・パウロ二世の日本訪問を機に障害者も宣教活動を行っていくことと、障害者がミサへの完全参加を掲げて、全国の障害者団体が力を合わせて翌年の1982年に設立されて今年が36年目になります。

主な活動

①毎年役員会を開催して活動方針を含めた会

議を開催して活動を進めております。

②年に3回機関誌「わ」を発行して活動計画や報告を全国の教区、教会、修道院、その他関係機関に発足当時から送らせていただきご理解とご寄付等の支援をいただき、その資金で当会の活動が支えられております。感謝です。

③3年に一度全国大会を開催しています。前回は札幌で、来年は13回目を横浜で開催する予定になっております。

④加盟団体との意見交換会

⑤研修セミナーの開催

昨年は松浦司教様による「平和をつなぐ…私、そして私たちの選び」

今年はイグナチオ教会の英隆一朗神父様による「福音に生きるとは一優生思想に対抗してー」

⑥今年からフェイスブックを立ち上げて活動内容を写真を含めて掲載しておりますので「カ障連」で検索してぜひ見てください。

8) 機関誌を読んでいる。

・ありがとうございます。いつもご理解とご支援をいただき感謝です。何かありましたら事務局までご意見をいただければ幸いです。

9) 相談窓口になって欲しい。

・事務局にぜひ何でも相談したいことがあればご一報ください。(機関誌「わ」最終ページに掲載しています)

10) カ障連は物質的なことだけではなくキリスト教の精神的なこともやって欲しい。

・機関誌「わ」や研修セミナー等によって信仰を深め活動するためにやっておりますので、ご覧いただいたり参加してみてください。

11) 神学校に点訳や手話等の授業を組み込んでもらえるように働きかけて欲しい。

・昨年の司教総会において、カ障連初代会

ちょうやまだあきよし しんがいはしゃけんりじょうやくおよ しょう
長山田昭義氏から障害者権利条約及び障
がいしゃさべつかいしょうほう こうえん ぜんしきょうさま
害者差別解消法について講演を全司教様に
おこな
行いました。そのさい しんがっこう しゅわ
てんじ きょういく ほ ねが
点字の教育をして欲しいとお願いしてあり

ます。
いじょう かいとう いただ
以上アンケートに回答を頂き、できるだけ
こんかい ほうこく なか か
今回の報告の中で書かせていただきました。
しょうれん しえん きょうりょく よろ
これからも力障連へのご支援とご協力を宜し
ねが
くお願いいたします。また何かありましたら
じむきょく いっぼう おも
事務局にご一報いただければありがたいと思
います。

しょうれんかつどう 力障連活動 なに たいせつ これから何を大切にしたい はな あ かの話し合い

うんえいいいん せんなんきょうかい たなか みる
運営委員（泉南教会） 田中 実

ことし がつ しょうれんやくいんかいじ しょうれんかつどう
今年7月の力障連役員会時に「力障連活動
なに たいせつ
はこれから何を大切にしたいか」について
あ か こ かい かめいだんたいいけんこんかん
話し合いました。過去2回の加盟団体意見交換
かい はな あ う はな
会において話し合ってきたことを受けた話し
あ こんかい
合いです。今回もホワイトボードミーティン
かだいかいけつ おこな
グの課題解決スタイルで行いました。
すず かた きょうかい しょうがいしゃ りかい
進め方として、まず、「教会で障害者への理解
すず ちゅうしんかだい かんが
が進まない」を中心課題として考えてみました。
か き こうもく いけん あ
すると下記の項目が意見として上がってき
ました。

- しょうがいとうじしゃ すがた きょうかい み ほんざい
■障害当事者の姿が教会に見えない→存在が
み こ つ こ
見えない、来ない、連れて来られない、
- しょうがいとうじしゃ かちかんへんか
■障害当事者の価値観変化→インターネッ
せいかつへんか ひとり たいおう
ト、スマホなどの生活変化、一人で対応へ
- しょうがいとうじしゃ おも うご しんこう しょうがい
■障害当事者の思いと動き→信仰と障害の
みきわ なかまれんけい ふそく しょうれん うご
見極め、仲間連携の不足、力障連の動きが
よわ
弱い
- しょうがいとうじしゃ きょうかい きより きょうかい ふんいき
■障害当事者と教会の距離→教会の雰囲気

ふあん しんぶ むりかい かんぜんさんか こん
不安、神父の無理解、ミサの完全参加が困
なん
難
しょうがいとうじしゃ しゃかい うご こうれいか しょうらいふ
■障害当事者と社会の動き→高齢化、将来不
あん しゃかいへんどう はげ こりつ さべつじょう
安、社会変動の激しさ、孤立、差別助長

じょうきかくこうもく かんれん かんぜん き
上記各項目は関連しているので完全に切り
はな 離すことは難しいと思います。

きょうかい しょうがいしゃ りかい すず はいけい
教会で障害者の理解が進まない背景にあ
よういん しょうがいとうじしゃ たちば かんが ようやく
る要因を障害当事者の立場で考えて要約す
ると、そもそもしょうがいしゃ ほんざい み
信仰と障害の立ち位置が確立できてない、仲
しんこう しょうがい た い ち かくりつ なか
間との連携が希薄、他の障害への理解が進ん
ま れんけい きはく ほか しょうがい りかい すず
でない。障害当事者の価値観変化、教育や
しょうがいとうじしゃ かちかんへんか きょういく
コミュニケーションに残る制約、バリアフ
じょうほうほしょう ふじゅうぶん しえんしゃ こうれいか
リー・情報保障が不十分、支援者の高齢化、
きょうかい たいしつ あつぱくかん
教会の体質と圧迫感、カミングアウトできな
い、神父の無理解、親の立場としてしょうがい
しんぶ むりかい おや たちば しょうがい
る子どもの将来が不安、社会の急激な変化に
こ しょうらい ふあん しゃかい きゅうげき へんか
よる戸惑いなど。加えて、しょうがいしゃけんりじょうやく
とまど くわ
差別解消法などについても注目されます。

さべつかいしょうほう ちゅうもく
次に、上記の課題の中で、私たち力障連
かつどう たいせつ はな あ
活動として大切にしたいことを話し合ってみ
ました。
やくいん あ たいせつ こうもく かじょうが
役員が上げた大切にしたい項目を箇条書き
にします。（順不同）
ぐたいてき と く もくひょう ほうほう ゆうせんじゅんい
具体的な取り組み（目標・方法・優先順位・
スケジュール・担当）は引き続き検討致します。

- ひと よわ たいせつ きょうかい
①人の弱さを大切にしたい教会づくり（すべて
かた い りかい わ かち あ
の方の生きづらさの理解と分かち合いなど）
- きょうかいほうもん しょうがいしゃなかま し つな ぶんか
②教会訪問で障害者仲間を知り、繋がりを深
きょうくないしょうきょうほうもん きょうかい
める（教区内小 教区訪問、教会イベント活
よう など）
- しょうがいしゃ もくそうかい かいさい ふ
③障害者のためのミサ・黙想会の開催を増や
びょうしゃ ひ しょうがいしゃ つど
す（病者の日ミサ、障害者の集いなど）
- かんぜんさんか たいおう しほくしゃ ひょうぎかい
④ミサの完全参加への対応（司牧者・評議会
りかい うった じょうほうほしょう てつてい
へ理解を訴える、情報保障の徹底など）
- しょうがいしゃ しんこういくせい じりつ しんこう わ
⑤障害者の信仰育成と自立（信仰の分かちあ

い、自己開示、若い方とのつながり、勉強会など)

⑥カ障連の動き（カ障連大会広がりと活用、全国のグループの育成と連携、啓発活動など）

⑦法律・制度の見極め（福祉制度、権利条約、差別解消法、優生思想、子どもの未来など）

⑧司教評議会との連携（神学校のバリアフリーとカリキュラムに手話指導・福祉実習・他）

以上は、今後、課題解決に向けて、問題の構造化と深掘りをはかり、どのような絞り込みができるか、何を優先していくか、どのような対応をしていくべきか、一つひとつ丹念に積み上げていくことが大切だと思えます。最終的にはカ障連会長の意思で計画にまとめられていくこととなります。これからの詰めが大変ですが、確実な歩みになるよう努力していきたいでしょう。

第12期 第6回大阪役員会報告

日時：7/1（土）～7/2（日）

会場：7/1は大阪梅田教会（サクラファミリア）、7/2は大阪聖ヨゼフ宣教修道女会 姫里集会所で開催致しました。

1 カ障連アンケートについて

(1)約1,000カ所の全国の小教区に発送した回答いただいたのは約320カ所でした。しかし最初の締め切り近くになっても少ないので締め切り日を延長して、カ障連の加盟団体などにまだ未提出の教会名を送り、再度お願いをしていただきました。その中で積極的に連絡して下さった札幌、愛知、群馬地区などから多くの提出をいた

だきました。感謝です。さらに加盟団体でない広島教区の山口県は、日頃から活動されているので多く提出していただいたと感じています。

(2)今回は提出していただいた教区及び小教区名を掲載し、ご協力いただいたことに御礼の言葉を掲載する。

(3)膨大な内容のアンケートをどう分析するか。役員会では無理なので別途プロジェクトチームを作りアンケートの集計、分析、コメント等を含めて作成することになりました。コメントは今後更に各小教区活動を推進していただくために各小教区で何をしてもらいたいか。またカ障連としてどのように受け止め、今後の活動に結びつけていくかを検討してもらうことにした。その中には今回回答を頂けなかった小教区も含めてどう進めていくかも盛り込んだ報告としたい。

(4)アンケート報告は次回の7月発行予定の機関誌の「わ」には時間もないので第1弾として回答いただいた各教区、各小教区の回収カ所及び回収率等を掲載する。第2弾として11月発行予定の機関誌「わ」に内容の分析結果とコメントを掲載したい。

2 研修セミナーについて（案）

日時：11/18 14:00 開会

場所：カトリック南山学園研修センター

定員：50名

講演者：英 隆一朗神父

テーマ：「福音に生きる－優生思想に対抗して－」

3 横浜大会

日時：2018年10月20日（土）10:30 受付～21日（日）13:00 予定案

場所：聖光学院中学校高等学校
横浜市中央区 JR 根岸線山手駅下車徒歩
8分

準備状況の報告があった。

実行委員会を立ち上げて横浜教区の福祉委員
員会と連携し関係者への協力要請等を行っ
ているとともに大会内容、基調講演者、スケ
ジュール、分科会テーマ、交通費補助等の検
討を行っているとの報告がありました。

そして来年の3月の機関誌「わ」には全国
大会の案内を発行することで検討を進めてい
る。

4 役員会によるホワイトボードミー ティング

昨年及び今年のホワイトボードミーティン
グを受けて具体的活動内容の検討を役員会で
行った。

5 次年度の加盟団体意見交換会方式

今年度はホワイトボードミーティングを行っ
たので講演会などの話がありましたが、次年
度は今年度全国に出したアンケートを基本に
ホワイトボードミーティングを行うことにな
った。
講演者の検討。

6 ホームページについて

(1)まずフェイスブック開設後の反応

本フェイスブックを見た方から「カ障連を
知った。会員になりたい。アンケート、機
関誌「わ」の内容に同感した、またカ障連
への活動が教会の良き起爆剤になって欲し
い」など、色々な嬉しいメッセージを頂い
ているとフェイスブック担当者から報告が
ありました。更に日本だけでなく海外でカ
トリック系の障害者施設に配属された方か
らは、知的障害者への対応方法の指導を求

めるメッセージも頂きましたので回答して
いきたいとの報告も受けました。

(2)ホームページは今構想を検討している。

7 高山右近列福式について

障害者への配慮が不十分に感じた。聴覚障
害者への手話通訳者が2階の危ない箇所
でやっており危険を感じたことと、大阪地区特
有の手話表現があったので分かりにくい点
があり、要約筆記があれば補うことができた。
スクリーンに要約筆記がなかったので分か
りにくかった。そのスクリーンが真上で見え
にくかったなどの意見がカ障連に寄せられ、
今後同じような大会がある場合には事前にカ
障連等にも連絡を頂き、意見を伝えていく必
要があり、司教団に対して要望書を出すこと
になった。

8 機関誌82号「わ」11月28日発行 予定

9 次回名古屋役員会

11 / 18 (土) ~ 19 (日)

南山学園研修センター

英 隆一朗神父様の研修セミナーを含む

日本カトリック障害者連絡協議会会報

事務局：〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15
カトリック名古屋教区社会福祉委員会室内
Tel：052-852-1426 fax：052-852-1422

郵便局振替口座番号：00100-7-31254

(同封の振込用紙をご利用ください)

会費：年間1口 1,000円
(団体 10口以上 個人 1口以上)

加入者名：日本カトリック障害者連絡協議会